



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

広島陵北ロータリークラブ

- The Weekly Report -

～クラブのテーマ～

こころゆたかなロータリアン

～本年度会長方針～

奉仕の心で未来を築こう



2009-2010年度
R.I.会長よりのメッセージ

第917回例会 2010年1月27日 No.889号

■ 会長時間



会長 井林 孝二

会員の皆様、こんにちは。お客様にはようこそお越しくございました。ごゆっくりお過ごし下さい。

今日は、日本の住宅事情について少しお話します。

かつて日本では、新婚時代はアパートで暮らし子供が生まれたら賃貸マンションへ、その後子供の成長とともに、もっと広い分譲マンションを購入。そ

の後、そのマンションを売却した利益で郊外に庭付、一戸建てを購入するというサラリーマンの人生設計がありました。1億総中流と言われ、土地も給料も右肩上がりが続いた時代の話です。昨今はなかなか難しい話です。

昨年は住宅の着工戸数が42年ぶりに100万戸の大台を下まわったそうです。1960年代には都市部の住宅が極端に不足し、公団の団地の一戸当たりの人数は5人だったそうです。今や全国平均の一戸当たりの人数は2.4人で約5760万戸ある住宅のうち8戸に1戸は空き家だそうです。

最近の流行は、割安な中古物件を買ってリフォームする方式だそうです。実際古民家等でわかるように、しっかりした住宅は本来手入れさえすれば長期にわたって住み続けられます。

ニュージーランドに何度か行って一般の家庭を訪問しましたが、まさに、古い家を買って自分でリニューアルして住んだり、手なおして買った値段より高く売った経験のある人がたくさんいました。ニュージーランドの気候は湿度が低く、気温もあまり高くないから可能なのか、高温多湿の日本では、木造建築の耐用年数がどうしても短くなるので、リニューアルもかなり難しいのかもしれませんが。

ただ、これからは、造っては壊すだけでなく暮らし続けるマイホームが必要になって来たのではないのでしょうか。

今回の例会(2月3日)

月間卓話

『世界理解月間』
～ネパールを理解しよう～

渡部 邦昭 会員

次回の例会(2月10日)

会員卓話

石川 貴与和 会員 瀬川 長良 会員

出席報告

(山田例会運営委員)

1月27(水)出席者

| | |
|------|-----|
| 会員総数 | 43名 |
| 出席会員 | 37名 |
| 欠席会員 | 6名 |
| ご来賓 | 0名 |
| ご来客 | 3名 |
| ゲスト | 0名 |

来客者紹介

(長松親睦家族委員)

1月27(水)出席者

| | |
|--------|----|
| 広島南RC | 1名 |
| 広島東南RC | 1名 |
| 広島西南RC | 1名 |

幹事報告(川中幹事)

■ 例会変更

- ・ 広島中央RC 「AED贈呈式及び講習会」
【と き】 2月15日(月) 12:30～14:20 [※同日変更]
【と ころ】 市社会福祉事業団5階
- ・ 広島北RC 「職場訪問例会」
【と き】 2月18日(木) 12:30～ [※同日変更]
【と ころ】 広島弁護士会館・広島地方裁判所
- ・ 広島安佐RC 「職場訪問例会」
【と き】 2月18日(木) 15:30～ [※同日変更]
【と ころ】 広島テレビ
- ・ 広島廿日市RC 「職場訪問例会」
【と き】 2月22日(月) 12:30～ [※同日変更]
【と ころ】 エコセンターはつかいち
- ・ 広島東RC 「創立記念夜間例会」
【と き】 2月24日(水) 18:30～ [※同日変更]
【と ころ】 ホテルグランヴィア広島

■ 休会

- ・ 広島城南RC 2月12日(金) 「休会」
- ・ 広島西南RC 2月16日(火) 「休会」

【例会】 毎週水曜日(12:30～13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】井林 孝二 【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F 【TEL】082-221-4894

【幹事】川中 敬三 【ホームページ】http://www.ryohoku-rc.jp/ 【FAX】082-221-4870

会員卓話

『私の仕事とロータリー』

割方 寿祥 会員



コーヒーの輸入・加工販売を生業としております。

私が初めてコーヒーを飲んだのは小学校一年生の春(昭和二十九年)からです。両親が毎朝おいしそうに飲んでいる様子を見ながら育った事から、コーヒー解禁の日を待ち望んでいたのではっきりと記憶しています。ふくいくとした香りとほろ苦い味を楽しめるようになると、少し大人に近づいたような気がしたものです。

当時はまだめずらしい飲み物でしたが、レギュラーコーヒーやインスタントコーヒー以外に、缶コーヒーなども豊富に出回り、今やコーヒーは大人から子供まで楽しめる嗜好飲料になっています。コーヒーが世界中で最もポピュラーな飲み物の一つであることは間違いありませんが、ここまで普及したコーヒーがいつからどこで

飲まれ始めたかということは案外知られていません。

現在でも野生していると言われるエチオピア高原が数多くの種類のコーヒー樹の原産地とされています。そのコーヒーの木になる赤い実を元気の源として食べ、その実の煮汁が眠気を覚ます貴重な飲み物として飲んでいたのでイスラムの僧侶たちでした。エチオピアにはイスラムの僧侶とコーヒーの出会いについて「イスラムの僧侶が山中でヤギがコーヒーの赤い実を食べて元気に飛び跳ねているのを見たのが始まり」と言う伝説が残っています。この飲み物を酒の名前であるカーファと呼んだことが、現在のコーヒーの語源であるとされています。僧侶たちは単に眠気を覚ますだけではなく心身ともにリラックスできるコーヒーの効果を楽しんでいました。

その後、一般信者から庶民の間にまで広まって行きました。その後、インドそしてヨーロッパへと伝わり、コーヒーに砂糖を入れて飲まれるようになり、さらに普及しました。飲むと頭がすっきりするなどの作用や循環器系に効果のある飲み物だ、ということがわかったからだともいわれています。

年月を経て、豆のひき方やコーヒーの入れ方が開発されて味と香りが洗練されるにしたがって、薬だったコーヒーが徐々に嗜好品としての性格を帯びていきました。それでも、薬としての役割が忘れられたわけではありません。十七世紀半ば、ロンドンで開店したコーヒー店の宣伝チラシにはコーヒーが万病に効くということが強調されていた様です。

日本にコーヒーが入ったのは、十八世紀末で、長崎の出島にオランダ人が持ち込んだのが始まりだと言われています。しかし、コーヒーを口に出来た日本人は出島に出入りできるごく一部の人がたったようです。今日のように一般家庭で普通にコーヒーが飲まれるようになったのは、意外と最近で、戦後からのことです。今では世界有数のコーヒー消費大国となっています。コーヒーの輸入量で一番多い国はアメリカで、日本の三倍近い量が輸入されています。二位はドイツ、三位が日本です。ただし生産国まで含めた消費量で見ると、ブラジルが二位で日本は四位になります。さらに一人当たりで換算すると、フィンランド、ノルウェー、ベルギー、デンマークなどが上位にきて、日本はフィンランドの四分の一程度でトップ10にも入りません。平均すると一日一杯以下という残念な状況です。それでも消費量自体は順調に伸びていますから、マーケットとしての可能性はまだ大であるという事が言えると思います。コーヒーは飲料文化のバロメーターとも言われております。皆様これからコーヒーを愛飲して頂くようお願い致します。

【年間輸入量ベスト5】

| | | |
|----|---------|--------------|
| 1位 | アメリカ合衆国 | 1,426,440 トン |
| 2位 | ドイツ | 1,112,460 トン |
| 3位 | 日本 | 457,920 トン |
| 4位 | イタリア | 456,000 トン |
| 5位 | フランス | 384,060 トン |

【年間一人あたりの消費量ベスト5】

| | | |
|----|--------|----------|
| 1位 | フィンランド | 12.04 kg |
| 2位 | ノルウェー | 9.65 kg |
| 3位 | ベルギー | 9.38 kg |
| 4位 | デンマーク | 9.21 kg |
| 5位 | スイス | 9.14 kg |



.....:SMILE BOX

割方寿祥 会員

本日、久しぶりに卓話をさせていただきます。取り留めののない話になりますが、天災だと思ってください。よろしく願い致します。

福田義彦 会員、下田敬三 会員

今年1月で福田行政書士事務所が34周年、私、下田事務所が38年を迎えました。皆様のご指導の賜と感謝しています。今後共よろしく願い致します。

| | |
|----------|----------|
| ニコニコ箱当日計 | 3,000円 |
| ニコニコ箱累計 | 498,000円 |